

本年度の結果

	国語A	国語B
阿蘇市	73	68
全国	77.4	72.2

国語A	話す・聞く	書く	読む	言語
阿蘇市	65.3	82.0	64.9	74.8
全国	75.4	85.7	73.8	77.2

  

国語B	話す・聞く	書く	読む
阿蘇市	67.4	57.5	67.2
全国	72.4	60.8	72.1

本年度の主な結果について

- 漢字を書くこと、読むことなどの伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、出題された課題は概ね定着している。
- 目的や意図に応じて材料を集め自分の考えをまとめて書くことはできている。
- 国語A国語Bともに全国を下回り、中でも「話す・聞く」「読む」は大きな課題である。
- 話すことや相手に分かりやすい語句を選択して話すことに課題がある。
- 根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題がある。
- 話の展開を踏まえて一つ一つの叙述の意味を捉え、内容を理解することに課題。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 漢字を書く(営む:A9-3)、漢字を読む(覚悟:A9二1)、(鮮やか:A9二2)
- 書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く(A3-1)
- 目的や意図に応じた材料を集め、自分の考えをまとめる(A5二)
- 楷書と行書との違いを理解する(A9六1)

【課題】

話すこと・聞くこと

- 事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話すこと(A2二)
- 相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと(A7-1)
- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと(B2二)
- 事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すこと(B2三)

書くこと

- 文章の構成を工夫して分かりやすく書くこと(A5-1)
- 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くこと(B1三)
- 書く目的を意識し、必要な情報を集めるための見通しをもつこと(B3三)

読むこと

- 文章の要旨を捉える(A4-1)
- 文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつこと(A4二)
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み内容を理解すること(A6二)
- 文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くすること(A8二)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 事象や行為などを表す多様な語句について理解すること(A9五)
- 古典には様々な種類の作品があることを知ること(A9七2)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 国語で、解答を文章で書く問題を最後まで解答を書こうと努力した。
- 国語の勉強は大切だと思う。

【課題】

- 国語の授業の内容がよく分かる。
- 意見を発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- 自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 「話すこと・聞く」の指導に当たっては、相手や目的、状況に応じて話す力を身に付けるために、第1学年では相手の反応を踏まえながら話すこと、第2学年では異なる立場や考えを想定して話すこと、第3学年では場の状況や相手の様子に応じて話すことなどについて指導する。
- 「書くこと」の指導に当たっては、根拠を明確にして自分の考えや意見を書く指導を工夫する。また、書く目的を意識し、見通しをもって必要な情報を集める指導を工夫する。その際、何のために文章を書くのかの目的を踏まえた指導を行う。
- 「読むこと」の指導に当たっては、話の展開を踏まえて一つ一つの叙述の意味を捉える指導を工夫する。その際に、着目した語句や文が含まれる部分を考えるだけでなく、文章の中の時間的、空間的な場面の展開などに注意して文章全体を読んだ上で考える指導を行う。

【日常的な取組】

- 授業づくりの6つのポイントによる授業改善やICT機器の効果的な活用を行う。
- 語彙を豊かにするために、学習した内容を各領域の授業や実際の言語活動で活用させる。
- 速音読をはじめ、朝読書など読書を推進し、学校図書館を授業等で活用する。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、その取組を確認する。